

小学校 4・5・6 年生による組体操 (太地大運動会)

平成 24 年度 太地町の決算	2
平成 24 年度 主要施策の成果	4
トピックス	10
花火大会収支決算報告	11
姉妹都市ブルームコーナー	12
住民福祉課便り	14
くじらの博物館便り	16
お知らせ	18
保健衛生関係予定	20

平成24年度・太地町の決算



山中2号線トンネル貫通式



南紀園建設工事

太地町の平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）決算が9月に開かれた定例議会にて認定されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が34億6,562万1千円、歳出が31億9,915万5千円となりました。

限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成24年度の決算の概要をお知らせいたします。

平成24年度 会計別決算状況

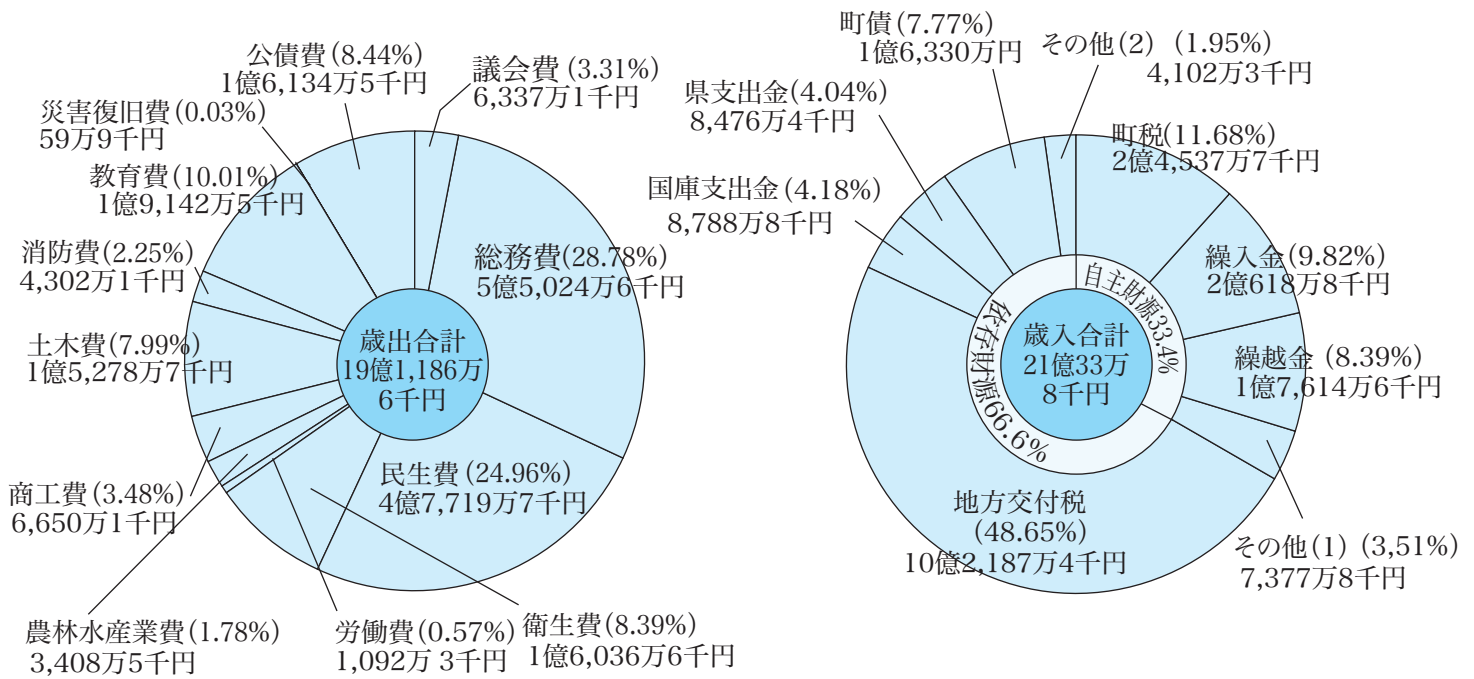
会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	21億33万8千円	19億1,186万6千円	1億8,847万2千円
国民健康保険事業	5億6,480万円	5億5,099万8千円	1,380万2千円
公共下水道事業	6,402万6千円	6,298万1千円	104万5千円
くじらの博物館事業	2億8,954万7千円	2億2,885万4千円	6,069万3千円
介護保険事業	3億3,625万2千円	3億3,619万4千円	5万8千円
後期高齢者医療事業	1億1,065万7千円	1億826万1千円	239万6千円

企業会計

水道事業	7,887万3千円	8,167万7千円	△522万6千円
国民宿舎事業	1億220万4千円	1億1,173万9千円	△960万9千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計

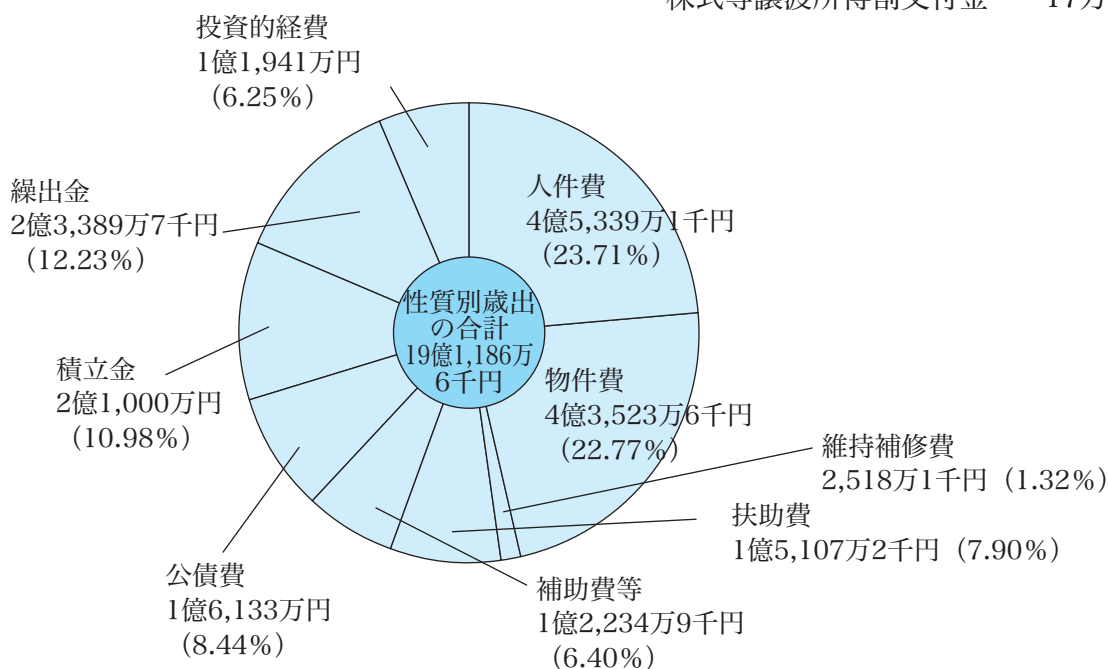


《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約30%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約70%を占めています。

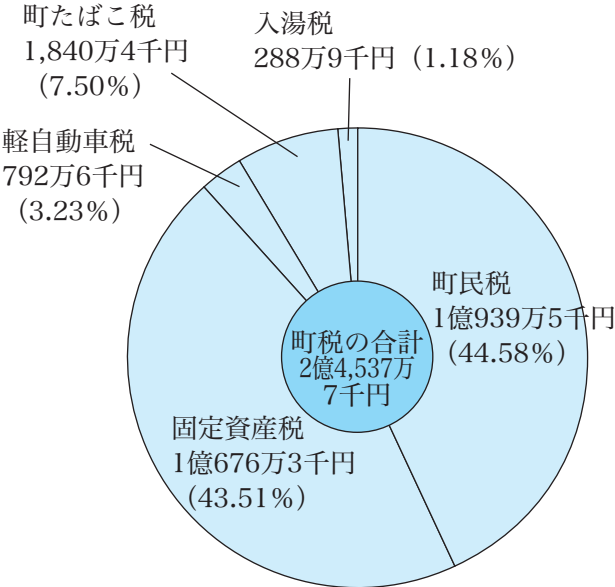
その他(1)の内訳	
分担金及び負担金	757万1千円(0.36%)
使用料及び手数料	1,716万1千円(0.82%)
財産収入	319万5千円(0.15%)
寄附金	130万円(0.06%)
諸収入	4,455万1千円(2.12%)
その他(2)の内訳	
地方譲与税	1,096万8千円(0.52%)
利子割交付金	127万円(0.06%)
地方消費税交付金	2,359万3千円(1.12%)
自動車取得税交付金	334万3千円(0.16%)
地方特例交付金	71万円(0.03%)
配当割交付金	96万3千円(0.05%)
株式等譲渡所得割交付金	17万6千円(0.01%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記のようになります。

※住民基本台帳 人口 3,386人
(平成25年3月末現在)

町 民 税	32,308円
固 定 資 産 税	31,531円
軽 自 動 車 税	2,341円
町 た ば こ 税	5,435円
入 湯 税	853円
合 計	74,877円



平成24年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業、夏山地区タクシー券交付事業を引き続き実施した。また、防災力の強化・充実を図るため、再生可能エネルギー等導入推進基金を活用しLED避難路誘導灯を4基設置するとともに、町内全世帯に対して2カ年計画の防災ラジオ貸与事業に着手した。また、庁舎南側新棟外壁防水工事を行った。

企画関係では、将来構想としての森浦湾鯨の海構想に寄与する太地町くじらと自然公園のまちづくり協議会への助成を行った。国際交流の更なる活性化のため、町内中学生を姉妹都市オーストラリア・ブルームへ派遣した。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用について、維持管理に努め、園地、球技場等を一般に開放するとともに、太陽寮を整備し警察官の宿舎として有効に活用した。そのほか、鯨文化保存のため捕鯨船更新事業を昨年に引き続き実施し、本年度において陸揚げした捕鯨船に階段を設置した。

財政関係では、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税の滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分に力を注ぎ、和歌山地方税回収機構を有効活用した。今後においても徴収率の向上に向け努力を重ねたい。

(単位：千円)

事 業	金 額	備 考
町営じゅんかんバス運行事業	13,756	
夏山地区タクシー券交付事業	365	
旧グリーンピア南紀維持管理関係	17,736	賃金他
旧グリーンピア南紀太陽寮整備	7,107	ガス配管更新工事他
くじら自然公園のまちづくり協議会助成	1,446	
庁舎南側防水工事	1,674	
防災ラジオ貸与事業	6,319	
LED 避難誘導灯設置工事	5,901	町内 (4 基)
捕鯨船展示場整備工事	3,086	階段設置
基金積立事業	210,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

住民の福祉、健康の向上のため、健康づくり体制の充実、医療の充実を図った。
 少子高齢化が進む中で、健やかな児童の成長と青少年の健全育成を願い各施策を実施した。
 高齢者が安心して暮らせる健康づくり、居宅サービスと高齢者の生活を支える地域ケア事業を実施した。

また、各種医療扶助を行うとともに国保加入者における予防事業として特定健診・特定保健指導事業、脳ドック事業を実施した。

介護予防事業では地域に即した支援を図ることを目的に高齢者トレーニング事業、高齢者の自主的な介護予防への取組支援、また、配食サービス事業、介護用品給付事業等、高齢者の生活支援事業の充実を図った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
社会福祉費	64,197	国民健康保険事業会計への繰出金
	4,276	地域ケア事業委託料
老人福祉費	500	生活管理指導員派遣事業委託料(介護保険事業)
	1,376	理学療法士派遣事業
	1,704	配食サービス委託料(介護保険事業)
	180	介護用品給付事業費(介護保険事業)
	25,224	老人福祉施設入所措置費
	9	老人医療費
	1,191	緊急通報業務委託料
	4,298	南紀園分担金
	659	老人クラブ助成金他
	45,830	介護保険事業会計への繰出金
	68,135	後期高齢者医療事業会計への繰出金
児童福祉費	84,562	保育所運営、児童手当他
乳幼児医療対策費	3,169	乳幼児医療費他
ひとり親福祉費	4,423	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者(児)福祉費	20,285	医療費、福祉手当他
	68,383	障害福祉サービス費等

衛生関係

「健康でありたいと願うまちづくり」を進める中で住民の健康の保持増進を図り、疾病や感染症の予防のため、各種検診、予防接種等を実施した。今年度は、脳ドックの対象を拡大し、実施した。

清掃センターの運営、維持管理を行い、施設内においては固形燃料施設の安全管理、また、各設備の補修、補完を行った。今年度は、清水墓公衆便所を新築した。また、環境衛生施設一部事務組合の運営に要する経費の負担や、浄化槽設置費補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	16,900	予防費、母子対策費、健康増進費
	84,527	清掃センター運営費等
	3,070	浄化槽設置費補助金
	13,534	環境衛生施設一部事務組合負担金
	13,331	清水墓公衆便所新築工事等

労働関係

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供を目的に事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	10,880	緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

鳥獣被害防止事業費として、小動物捕獲用檻（猪・シカ用）を3基購入し、設置希望者を対象に事業を行った。

漁業振興費としては、毎年行われているカサゴ・ヒラメの稚魚放流事業を今年度も実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	21	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
	45	果樹研究会助成金
花畑等整備事業費	665	県道花壇の整備
鳥獣被害防止事業費	458	鳥獣防除ネット等資材費補助金他
林業振興費	287	松食い虫薬剤散布駆除委託料
	992	紀州材ベンチ作製
ふれあいの森管理費	122	ふれあいの森管理費
水産総務費	99	水質（海水）検査委託料
漁業振興費	500	カサゴ・ヒラメ稚魚放流事業
	150	緑のボランティア助成金
	2,000	稚貝稚魚放流事業助成金
捕鯨対策費	7,810	IWC 捕鯨全面禁止絶対反対太地町連絡協議会助成金他

商工関係

南紀くろしお商工会への助成、公設市場負担金の支出等、商業の振興に努めた。

観光協議会の観光キャンペーン、イベントに参加し、観光客誘客に努め、毎年度実施している盆供養花火大会に助成を行った。また、引き続き海水浴場内において「くじらに会える海水浴場」と題し鯨類ふれあい事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	436	公設市場負担金
観光費（工事請負）	473	くじら浜海水浴場整備工事
	802	たかばべ園地防護柵設置工事
観光費	2,112	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,605	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	500	熊野古道キャンペーン推進連絡会分担金
	560	花火大会助成金

土木関係

生活環境基盤の整備を図るため、道路整備、側溝改修をはじめ、沿道空地を利用した広場整備事業、また、災害時等における避難路の整備事業を実施することにより安心かつ安全に避難することのできる環境整備を図った。また、住宅管理費として、白アリによる被害の大きかった上野公営住宅改修工事と塗装劣化による雨漏れのあった平見公営住宅の改修を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	808,500	山中 2 号線道路新設 (トンネル) 工事
	2,170	山中 2 号線道路新設 (函渠) 工事
	4,736	南暖海 1 号線側溝改修工事
	3,497	南暖海 2 号線側溝改修工事
	5,026	西地線側溝新設工事
	2,667	町内避難路整備工事 (妙見山地区)
急傾斜地保全事業	200	津波昇降路設置事業負担金
住宅管理費	2,653	上野公営住宅改修工事 (5 号室)
	2,054	上野公営住宅改修工事 (3 号室)
	724	平見公営住宅塗装改修工事 (50 - 4 号室)
都市計画費	615	本浦地区公園整備工事

消防関係

災害に強いまちづくりへの取組み及び東南海・南海地震発生による津波襲来に備え、備蓄品を購入し、救命胴衣、防災行政携帯無線機及び防災相互通信用無線機を配備した。また、住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
災害対策費	1,196	防災行政携帯無線機、防災相互通信用無線機
	514	災害備蓄用非常食等

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を推進した。

学校教育では、学習指導方法の工夫改善し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行った。

教育委員会事業では、平成18年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、児童・生徒と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診の予防事業を実施した。

虫歯等をなくし、口腔ケアを行うことを目的に、小学1・5年生への歯科治療補助を実施した。

食事のマナー習得のため、中学3年生を対象にテーブルマナー習得講習会を実施した。

教育委員会工事について、小学校では音楽室空調設置工事、スタンド改修工事、大小プール外周踏台塗装工事、鉄棒設置工事を、中学校では校舎玄関扉及び中庭扉工事を、公民館では屋上防水改修及び玄関タイル改修工事を行った。

石垣記念館では、昨年に引き続き近隣の画家による絵画作品展を開催し、入館者の増加を図るよう努めた。ブルームと太地の交流の歴史を振り返る企画展、南紀州から移民した人々の歴史をテーマにした企画展を開催した。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置づけ、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し取り組んだ。また、小学校5・6年生を対象に、地域の各団体の協力を得て「いさな通学合宿」を開催し、地域ぐるみの教育力を生かした児童の健全育成事業を行った。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導を行った。

また、児童を対象にした、「ユーユークラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の住民や自然とのふれあいが出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、町駅伝大会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。また、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

(単位：千円)

事業	金額	備考
教育総務費	575	小児生活習慣病予防対策事業費
	1,704	学校教育指導主事共同設置負担金
	1,694	青少年センター分担金
	978	英語教育推進事業
	3,024	外国青年招致事業
	67	児童生徒虫歯治療費
小学校費	1,441	校舎校具等維持修理費
	9,258	音楽室空調設置工事、スタンド改修工事、他 2
	3,450	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	782	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	1,255	就学援助費
中学校費	1,219	校舎校具等修理費
	1,471	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	656	生徒派遣費補助金
	794	就学援助費
	195	テーブルマナー習得講習会時費用
	1,379	校舎玄関扉及び中庭扉工事
幼稚園費	497	園舎教具等修理費
	163	備品購入費
社会教育総務費	730	カレンダー印刷製本費
	181	いさな通学合宿事業
公民館費	410	文化講演会講師謝金
	280	修繕費
	814	備品購入費
	5,095	屋上防水改修及び玄関タイル改修工事
文化財保護費	200	太地町民芸保存会助成金
青少年健全育成費	190	青少年健全育成費(需要費)
石垣記念館費	83	絵画展示会費
保健体育総務費	762	ジュニア駅伝参加費
	499	町駅伝大会費用

～太地大運動会が行われました～

9月29日（日）、太地小学校グラウンドで「仲間と共に夢に描いたゴールをめざせ」をスローガンに太地小学校・太地こども園・町民合同の太地大運動会が開催されました。

運動会では、子どもも大人も一つ一つの種目に全力で取り組んでいました。PTA・一般の方々参加の各種目が盛り上がりを見せ、また、1年生から3年生が「くじらっ子ソーラン」を一生懸命に踊り、4年生から6年生は「組体操 2013」で一致団結して頑張り、観客からは惜しみない拍手が送られていました。



～中学生ブルーム派遣事業報告会を行いました～

9月24日（火）、太地町公民館で、「中学生ブルーム派遣事業報告会」を行いました。

報告会では、中学生がパース市内を見学したことやブルームで日本人墓地を訪れ、お参りをしたこと、現地の人たちとの交流などをスライドで説明し、それぞれ最も印象に残ったことや感想等を述べていました。

また、生徒たちの報告終了後に、太地町歴史資料室櫻井氏からブルームの日本人墓地の調査結果について説明がありました。

どの生徒もブルームに行行って良かったと話しており、今回の派遣事業はとても貴重な体験ができたのではないのでしょうか。



平成25年度盆供養花火大会収支決算書

平成25年度盆供養花火大会が、8月14日無事開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことに謹んでお礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算をご報告いたしますので、ご一覽下さい。今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

1. 寄付金及び補助金	5,614,000円	特別協賛 3,624,000円 町内一般協賛 1,230,000円 町助成金 560,000円 追善供養 200,000円
2. 繰越金	570,790円	平成24年度繰越金
3. 利息	206円	預金利息
合 計	6,184,996円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
1. 事業費	5,020,000円	花火代金 紀州煙火 和田煙火店
2. 賃 金	134,200円	海上警備・臨時マイクロ バス・駐車場警備
3. 需用費	107,680円	消耗品費、食糧費、プログラ ム印刷費
4. 役 務 費	52,960円	口座振替手数料、郵便料・ 傷害保険、印紙
5. 委 託 費	33,000円	スピーカ設置
合 計	5,347,840円	

収入支出差引金額 翌年度 繰越金 837,156円

太地町花火大会実行委員会
委員長 松下 裕登

THE PEARLS

姉妹都市ブルームのコーナー



今回は再び、4 月末から 5 月にかけて太地を訪問したブルームの生徒がホームステイをしたお家の方にインタビューいたしました。今月号は、山口さんと阪本さんの 2 家族のお話をご紹介します。

まずは、山口さんのお話から。

ホストファミリー インタビュー① *話し手：山口 千佳さん

ーホストファミリーになろうと思った理由は何ですか？

数年前、最初にブルームの生徒が太地を訪れた時、ホストファミリーにならないかと声をかけていただきました。その時は他にもたくさんのご家族が受け入れを希望していたので私の家は受け入れをしなかったのですが、今回その機会があり、息子がブルームに行ったこともあって、受け入れを決めました。

ーホームステイの受け入れをした感想を教えてください。

全体の印象としては、パトリックもエドワードゥも全く手がかからない子で、安心してホームステイさせることができました。

私はそんなに英語が話せるわけではないのですが、2 人とも日常会話用の辞書を片手に一生懸命日本語を話してくれたので、特に言葉の違いも問題になりませんでした。また、わからない時は真央が通訳をしてくれたので、息子さんの方が英語を話せることに驚きながらも頼もしく感じました。

ーホストファミリーになって良かったと思ったことはありますか？

息子の成長が少し見られたことです。私は最初からこのホームステイでできるだけ世話を焼きすぎないようにしようと決めていて、2 人のおもてなしは息子に任せていました。

長男の大貴は大学生で、離れて暮らしています。今は次男の真央と 3 人で暮らしているのですが、末っ子なのできちんとお世話できるのか少し心配でした。しかし、遊びに誘ったり食べたいものがないか尋ねたり、気遣いをしながら積極的に話しかけている彼を見て、人に優しくできるよ

うになったのかなと感じました。

まだホストファミリーになったことのない家庭でも、特に中学生のお子さんがいらっしゃるにはぜひ受け入れてほしいと思います。学校に通いながら、ブルームの生徒と長く一緒に過ごせると思うからです。

料理も、私は普段から食べているものを出していましたが、何でもおいしく食べてくれたので心配することは特にないと思います。お子さんがブルームへ行ったことがなくても、きっと受け入れをすることで良い経験になるのではないのでしょうか。

ーありがとうございました！



◎ホストファミリーのお名前・家族構成

父：山口 正和（まさかず）さん
母：千佳（ちか）さん
長男：大貴（ひろき）くん（大学生）
次男：真央（まお）くん（14）

◎ホームステイした生徒

パトリック・グレイス
エドワードゥ・メイハー

●写真上／くじらの博物館で土鈴に色を付ける真央くん（左）とエドワードゥ（右）

●写真左／森浦湾のシーカヤック乗り場にて。左から、真央くんの友人、真央くん、パトリック、エドワードゥ

●写真右／シーカヤックに乗るパトリック（右）とエドワードゥ（左）



次に、阪本さんのお話です。

ホストファミリーインタビュー② *話し手：阪本 里美さん

ーホストファミリーになろうと思った理由は何ですか？

息子の祐人が昨年ブルームに行き、受け入れをしたいと言ったことがきっかけです。もともと控え目な性格なのですが、英語には小さい頃から興味があったようです。それにブルームがとても楽しかったようなので、積極的に受け入れたいと言い出したことを嬉しく感じました。

ーホームステイの受け入れをした感想を教えてください。

ジョーヘイはとても大人しかったので、最初は他にもう1人ぐらい受け入れてあげた方がよかったかな、と思いました。しかし日が経つにつれて、息子たちとも仲良くなっていくのがわかりました。特にホームステイ最後の夜に複数の家族で漁協を貸し切ってバーベキューをした後は、みんなで家まで歩いて帰り、大藪さんのお宅で夜遅くまで遊んでかなり打ち解けたようです。

みんなで釣りや買い物に行ったことも印象に残っています。ジョーヘイの家族は釣りをよくするそうで、釣り具屋さんに連れて行ってあげた時には家族に頼まれた釣り具をたくさん買っていました。また、ドラッグストアに行った時にはヘアワックスにとっても興味を示していて、買ってあげると喜んでいました。おしゃれに気を遣うところは、日本の男の子と変わらないようです。

ジョーヘイが役場の方と一緒に那智山に登った日は、歩き疲れて足が痛かったようで「家に湿布はある？」と言ってきました。あまり自分から何かを言い出す子ではなかったので驚きましたが、少し嬉しく思いました。

ーホストファミリーになって良かったと思ったことはありますか？

短期間だったのでハードスケジュールで大変でしたが、楽しいことが多かったです。家族みんなでジョーヘイのiPadの写真を見て話すなど、とても楽しめました。

子どもさんがブルームに興味を持っている家庭はもちろん、保護者の方が興味を持っている家庭でも受け入れをしてほしいと思います。どちらかの気があまり進まなかったとしても、受け入れをすることで印象が変わるはずですし、新しいことにどんどん挑戦するべきだと思います。

ーありがとうございました！



◎ホストファミリーのお名前・家族構成

父：阪本 信二（しんじ）さん
母： 里美（さとみ）さん
長男： 祐人（ゆうと）くん（15）
次男： 倫平（りんぺい）くん（13）
三男： 宙吾（ちゅうご）くん（11）

◎ホームステイした生徒
ジョーヘイ・ハマグチ

●写真上／阪本さん一家
とジョーヘイ（中央）



●写真左／釣りでの写真。
前列右から宙吾くん、倫平
くん、後列右から2番目が
ジョーヘイ

●写真右／バーベキュー
にてはしゃぐブルームの
生徒たち。右端がジョーヘ
イ。

We Love
Broome!
We Love
Taiji!

住民福祉課便り

健診はお済みですか？

今年度の各種健診について、皆さんすでにお済みでしょうか？ お済みでない方は、配布されている検診申し込み表により、健診実施日の2週間前までにお申し込みください。健診の日程は下記のとおりです。

日 程	場 所	内 容
11月 20日 (水)	多目的センター	特定健診・健康増進健診（前立腺がん検診）・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診 ※午前のみ実施

※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。

検診の申し込みは、検診申し込み表により住民福祉課または健康づくり推進員までお申し込みください。

★「肺がん検診」の事前申し込みは必要ありません。受診を希望される方は上記の検診実施日にお越しください。

※肺がん検診の受診料は無料ですが、喀痰検査を受けられる場合は受診料 500 円が必要です。

★「前立腺がん検診」は、原則、健康増進健診と同時実施しますので、受診を希望される方は、健康増進健診をお申し込み下さい。（40 歳以上）

★受診料・対象者などその他詳細につきましては、検診申し込み表とともに配布されている「各種健診のご案内」をご覧ください。

★「特定健診・健康増進健診・肝炎ウイルス検診」は12月に、「子宮がん検診」は12月まで下記の実施医療機関でも受けられます。

○ 実施医療機関 ○

特 定 健 診 健 康 増 進 健 診 肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	坂 野 医 院 漁 野 医 院
子 宮 が ん 検 診 ※	矢 島 産 婦 人 科 医 院（新宮市） いすみウィメンズクリニック（新宮市）



● 健康づくり推進員

背古 典子	平 見
山下 尚子	
磯崎 多津子	大 東
庄司 和子	小東・寄子路
奥村 洋子	新屋敷
小畑 真里	水の浦
太田 卓子	暖 海
上中 佳苗	森 浦

◆ お問い合わせ ◆

太地町役場住民福祉課
☎ 59-2335

※今年度は那智勝浦町立温泉病院での子宮がん検診受診はできなくなりましたのでご了承ください。

大腸がん検診無料クーポン券について

太地町にお住まいの大腸がん無料検診対象者の方は、町が実施する大腸がん検診で「大腸がん検診無料クーポン券」をご利用いただけます。（すでに対象者の方には、「大腸がん検診の案内」および「大腸がん検診無料クーポン券」を送付させていただきました。）

くわしくはクーポン券と同封されている「大腸がん検診の案内」をご覧ください。

検診実施日：平成25年11月20日（水）

検 診 場 所：太地町多目的センター



クーポン券を紛失された方
はご連絡下さい。

★ 検診無料対象者 ★

平成24年4月2日から
平成25年4月1日までのあいだに・・・
◎40 歳・45 歳・50 歳・55 歳・60 歳
になった方⇒大腸がん検診無料

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施します

【期 間】 11月18日（月）から11月24日（日）までの7日間

【時 間】 午前8時30分から午後7時まで（※ただし土・日曜日は午前10時から午後5時まで）

【電話番号】 0570-070-810（全国共通ナビダイヤル）

【相談内容】 夫やパートナーからの暴力、ストーカーなどの女性をめぐる各種の人権相談。相談は無料で、
秘密は厳守されます。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください

（和歌山地方法務局人権擁護課内）和歌山県人権擁護委員連合会（☎ 073-422-5164）



RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々で、初めて感染、発症した場合は重くなりやすいといわれています。



RSウイルス感染症は、例年冬期にピークがみられ、夏期は少ない状態が続いていましたが、2013年は、7月下旬から徐々に増加傾向となり、特に、8月下旬にかけて急激な増加がみられました。

RSウイルス感染症は咳やくしゃみ等による飛沫感染、感染している人との濃厚接触やウイルスがついている手指で物品を触ったりすることによる間接的な接触感染によって感染します。

予防・治療法は…？

予防するためのワクチンは現在ありません。治療は基本的には対症療法（症状を和らげる治療）で行います。

感染しないためには、子どもたちが触れるおもちゃなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水、せっけんによる手洗い、またはアルコールによる手指消毒を行いましょう。



ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、最初に作られた薬（先発医薬品：新薬）の特許終了後に、厚生労働省の承認のもとに製造・販売されている薬です。医療費の節減や、自己負担額も軽減する場合がありますので有効に利用しましょう。

ジェネリック医薬品のポイント

- ①開発コストが少ないので、新薬よりも安価です。
- ②国の厳格な審査を受け、新薬と効き目や安全性が同等であると承認された薬です。



注意！

- ◎すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。
- ◎薬代が下がっても、自己負担額が新薬の使用時と変わらないか上がる場合もあります。
- ◎ジェネリック医薬品を取り扱っていないかったり、取り寄せになることもあります。

太地町役場住民福祉課
国民健康保険係

11月11日は「介護の日」

11月11日は「介護の日」です！

みなさんの周りには、日頃介護を受けている方や、その家族、介護を仕事にしている方など、さまざまな形で介護に関わっている方がいらっしゃると思います。

高齢化などにより、今後介護が必要な方が増えていく中、介護を身近なものとしてとらえるとともに、それぞれの立場から介護について考え、関わっていくことが必要となってきます。地域に暮らす一人として、社会の一員として、この日を介護について考えるきっかけとしましょう！



～介護について考えませんか？～

ふれあい人権フェスタに出展します

【日時】：平成25年11月16日（土）10：00～17：00
11月17日（日）10：00～16：00

【場所】：和歌山ビッグホエール（和歌山市手平2丁目1-1）

【内容】：講演会、介護の相談、介護予防体操、
介護食体験、福祉用具の展示、
介護クイズなど

<お問合せ先>

和歌山県社会福祉協議会 福祉事業部 ☎073-435-5211



長崎くんちの「鯨の潮吹き」

The Blowing of Whale at Nagasaki Kunchi Festival

長崎くんちは長崎市の氏神である諏訪神社の秋季大祭です。奉納踊りを披露する「踊町（おどりちょう）」が市内に59ヶ町あって、7年毎に当番が回ってくるになっています。万屋町（よろずやまち）は、安永七年（1778）から「鯨の潮吹き」というだしものを奉納しています。長崎出島のオランダ商館に1823年から1829年まで医師として滞在したシーボルトも、帰国後に著した『Nippon』の挿絵で「鯨の潮吹き」を紹介しているほどですから、古くから人気を博していたのでしょう。唐津呼子浦の鯨組の宰領である中尾甚六が、万屋町にあった呼子屋という宿に滞在した際に助言して生まれたのが「鯨の潮吹き」の始まりというだけあって、肥前小川島漁場における古式捕鯨の様子が簡潔に表現されています。

5艘の船は先頭の「親父船」、次が「二番船」で、「五番船」まであります。実物を見ると、「三番船」までが羽差船（勢子船）、それ以下の2艘が持双船であることが水押（舳先）の形状から明らかです。お囃子の太鼓や鉦が乗っているのが「大納屋」で、これは捕鯨場所に建設される作業小屋のうちの本部となる建物を表現しているのでしょう。クジラの前を歩く「先曳」の持ち物には「切り身」と大福帳も含まれていました。船には1艘につき3本の鉾と2挺の櫓、そして2名の子供が乗っていて、鉢巻に竹製の網針（あばり、あぐり）を差していました。漁網を繕うための針です。他のいくつかの町が奉納する「川船」の、投網を打つ「船頭」もまた網針を鉢巻に差しています。漁師を表現する小道具として欠かせないものなのでしょう。

準備が6月1日から始まり、踊りは10月7日から3日間にわたって披露されます。「後日（あとび）」と呼ばれる最終日になると大納屋の屋根には雪が積もり、底には氷柱が下がります。漁の最盛期が厳冬の頃であることを示しているのです。そしてクジラに網が掛けられ、やがて捕鯨の演技と祭りが終わりを迎えました。

2学期のくじら学習が スタートしました!

10月8日(火)、2学期最初のくじら学習のため、太地小学校3年生が博物館を訪れました。3年生が行うプログラムは「パートナーをさがそう!」。図鑑や本、インターネットでは感じることでできない「生」のクジラを体で感じて学習してもらおうと企画したこのプログラムでは、博物館で飼育している7種類のクジラのうち6種類を子どもたち3~4名に1種類ずつ「パートナー」として割り振り、1年間を通して観察していきます。これまで行ってきた授業では、「クジラの種類の見分け方」、「クジラの体の大きさ、色、かたち」などをテーマに観察してきました。

今回子どもたちが観察するテーマは「クジラの食べ物と食べ方」。私たちの生活にもなじみの深い「食」という観点から、クジラたちが何をどのように食べているのかを学習しました。

博物館のクジラたちが毎日食べているエサは主に「ホッケ」、「ニシン」、「サバ」、「スルメイカ」の4種類です。まずは、子どもたちにエサとして与えている生き物を間近に観察してもらいました。普段から魚に触れている子、あまり触れたことのない子、一様に「きもちわる〜い!」、「くさ〜い!」と大騒ぎ。でも実際に触てみると「意外に気持ちいい」、「硬いところと柔らかいところがある」、「ホッケはざらざらしてるけど、ニシンとサバはつるつるしてる」、「スルメイカって垂れ目だね」など子どもたちそれぞれに感じる場所があったようです。

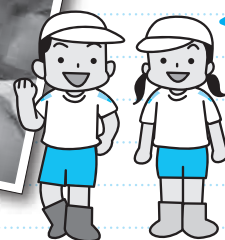
「クジラって魚を生そのまま食べるの?」、「こんな大きい魚丸飲みしたら喉つまらへんの?」、「どんな風に



して食べるの?」、エサ生物を観察した子どもたちの中にいろいろな疑問が湧いてきました。ゾウやライオン、ヤギを例にそれぞれの食べ物と食べる時のあごや舌、歯の使い方を学習し、クジラはどのように食べるのかを想像した後、いよいよそれぞれのパートナーのもとで彼らの食べ物と食べ方を子どもたちの目で確認していきます。

イルカショープール、クジラショーエリア、マリナリウムと各々の場所で、パートナーである動物たちを日頃からお世話している飼育のスタッフから、毎日どんな食べ物をどれくらい食べているか、どこをどんな風に使ってエサを食べるのか、などの説明を受けました。9時30分から11時までという時間が短く感じられるほど、子どもたちは集中して観察し、最後は時間ぎりぎりまでスタッフを質問せめにする姿があちこちで見受けられました。

次回の「パートナーをさがそう!」は、11月。最後の観察となるこの回では、「クジラの行動」に着目して観察を行う予定です。1年間かけて養ってきた観察眼を活かしてしっかりと観察してもらいたいと思っています。3月には保護者の皆さんや地域の方々、観光客の前での学習発表会も予定していますので、子どもたちの学習の成果をぜひ皆さんにもみて頂ければと思います。



今回の3年生くじら学習「パートナーをさがそう!」の活動の様子が、ZTV「どっか行こう」内で放映されます。ぜひご覧ください。[放送予定日:11月16日(土)~23日(土・祝)]

詳しくは

http://www.ztv.co.jp/z_town/chiki/shingu

お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

行政なんでも相談所

●行政相談とは●

国・県・市町村の仕事について「どうなっているんだろう」「納得できない」といった皆さまからの意見・苦情をお聞きし、問題の解決に努める役割をしています。

相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時：11月20日（水） 午前10時～11時30分

場所：太地町公民館2階 視聴覚室

相談委員：長尾 宝代 行政相談委員

お問い合わせ：太地町役場 総務課（0735-59-2335）

パートタイム労働者を1人でも雇用される企業の方々 パートタイム労働者として働く方々へ

近年、パートタイム労働者として働く人が増えていますが、パートタイム労働法では、労働条件の明示や賃金、正社員転換などについて定められています。

また、労働基準法や最低賃金法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等労働者を保護する法令はパートタイム労働者にも当然適用されます。

適正な雇用管理がなされ、パートタイム労働者の能力が有効に発揮される社会を目指しましょう。

パートタイム労働法の詳細は厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2007/06/tp0605-1.html>）をご参照ください。また、和歌山労働局雇用均等室（073-488-1170）へもお気軽にお問い合わせください。

防災ラジオの貸し出しについて

太地町では、災害時の緊急情報や避難情報など、町民の皆さんの安全を守り、大切な情報をお届けするために、防災行政無線（町内放送）を受信できる機能を持った「防災ラジオ」を貸し出しています。

◇対象 太地町全世帯

◇無償貸し出し・随時受付

お申込みは太地町役場総務課（0735-59-2335）へお願いします。

申込書は役場にございますので、お申込みの際は印鑑をご持参ください。

なお、お申込みや受け取りが困難な方は、お気軽に役場総務課までご連絡ください。



太地町防災ラジオ

～アイヌの方々からの様々なご相談をお受けします～ ～アイヌの方々のための全国一斉電話相談を行っています～

日常生活でお困りのことはありませんか？
嫌がらせ、差別、プライバシー侵害などのご相談もお受けします。

相談専用電話

アイヌの方々のための相談専用フリーダイヤル
0120-771-208

受付期間 9月20日（金）～1月19日（日）
（※12月28日（土）～1月5日（日）を除く）

時間 平日：午前10時～午後8時

土・日・祝日 午前10時～午後6時

●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守

公益財団法人 人権教育啓発推進センター
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12
KDX 芝大門ビル4階

◆本相談事業は、厚生労働省の平成25年度社会福祉推進事業により実施するものです。

経営セーフティ共済 （中小企業倒産防止共済制度）のご案内

経営セーフティ共済は、取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面してしまったときに資金を借り入れることができる制度です。無担保・無保証人で、積み立てた掛金の10倍の範囲内（最高8,000万円）で被害額相当の共済金が借入れ可能。『経営セーフティ共済』を賢く利用することをご検討ください。

（独）中小企業基盤整備機構が運営し、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店などの窓口で取扱いしています。

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/>
コールセンター TEL:050-5541-7171

（平日：午前9時～午後7時 土曜：午前10時～午後3時）

和歌山県で働くすべての方へ 確認しましょう！ 最低賃金

時間額 701円

和歌山県のこれまでの最低賃金 690 円から 11 円アップ

【発行日】 平成 25 年 10 月 19 日

※産業によって、特定（産業別）最低賃金が定められているものがあります。

パートやアルバイトなどの雇用形態にも適用されます。

必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

- ✓最低賃金額は都道府県ごとに違うことをご存じですか？
- ✓賃金は最低賃金額以上になっていますか？
- ✓使用者は適用される最低賃金額を周知していますか？

パソコンでも最低賃金がチェックできます。

厚生労働省ホームページ

最低賃金に関する特設サイト

<http://www.mhlw.go.jp/>

<http://www.saiteichingin.info/>

最低賃金に関するお問い合わせは和歌山労働局または最寄りの労働基準監督署へ



厚生労働省

1人でも雇ったら、入ろう。

労働保険

11月1日から30日までは、**労働保険適用促進強化期間**です。

正社員、パート、アルバイトなど、雇用形態にかかわらず、ひとりでも労働者を雇った場合、事業主は、労働保険に加入する義務があり、その手続きが必要です。

詳しくは労働局、労働基準監督署、ハローワークへご相談ください。

小規模企業共済制度のご案内

個人事業主（共同経営者含む）・会社等の役員の方が事業をやめられる場合などに備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。特徴は、掛金が全額所得控除。毎年、掛金が所得控除となるため節税効果があります。（独）中小企業基盤整備機構が運営し、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店などの窓口で取扱いしています。

URL <http://www.smrj.go.jp/skyosai/>
コールセンター TEL:050-5541-7171

（平日：午前9時～午後7時 土曜：午前10時～午後3時）

「税を考える週間」11月11日から

平成25年度のテーマは、「税の役割と税務署の仕事」です。

国や地方公共団体は、国民の生活に欠かすことのできない公共サービスを提供するため、様々な行政活動を行っており、その活動のために必要な経費を賄う財源が「税金」です。

国税の多くは、納税者自らが、所得金額や税額などの計算を行い、それに基づいて申告・納税する「申告納税制度」を採用しています。この申告納税制度が適正に機能するためには、第1に納税者が高い納税意識を持ち、憲法に定められた納税義務を自発的に履行することが必要です。

国税庁では、この納税義務の履行を適正かつ円滑に実現するため、様々な納税者サービスの充実を図っています。

詳しくは、国税庁ホームページ「www.nta.go.jp」をご覧ください。

ホットな

消費者ニュース

～消費者被害にあわないための最新情報をお届けします～

強引な健康食品の送りつけに注意！！

●申し込んだ覚えがなければ、きっぱり断ること！！

●断ったにも関わらず商品を送ってきたら、受取拒否をする！！

※強引に購入を勧められ承諾した場合でも、**クーリング・オフができるので、あきらめない！**



※おかしいと思ったら、すぐ消費生活センターに連絡しましょう！

●和歌山県消費生活センター 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
電話：073-433-1551 FAX：073-433-3904

（平 日） 9：00～17：00 （土・日） 10：00～16：00（電話相談のみ）

●和歌山県消費生活センター紀南支所 田辺市朝日ヶ丘23番1号 県西牟婁総合庁舎内

電話：0739-24-0999 FAX：073-26-7943

（平 日） 9：00～17：00（土・日・祝日・年末年始を除く）

《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
11 月 7 日 (木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム
11 月 14 日 (木)			
11 月 21 日 (木)			
11 月 28 日 (木)			

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
11 月 6 日 (水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
11 月 13 日 (水)	成人健康相談 (血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		14:00～15:00	老人憩の家
11 月 25 日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
11 月 7 日 (木)	10 か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町福祉健康センター
11 月 20 日 (水)	特定・健康増進・胃・大腸検診	8:30～9:30 (受付)	多目的センター

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
11 月 11 日 (月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11 月 18 日 (月)			
11 月 11 日 (月)			森浦集会所
11 月 25 日 (月)			

ー白馬からお便りー【姉妹都市「白馬村」コーナー】

「白馬村社協デイサービスセンター」「岳の湯」開所

平成25年10月7日(月曜日)より、深空地区に「白馬村社協デイサービスセンター」「岳の湯」が開所しました。

旧保養センター「岳の湯」を改装して指定管理者の白馬村社会福祉協議会により運営される施設内には、座ったまま入浴することのできる特殊浴槽や一緒に調理できる安全なシステムキッチン、快適に過ごしていただけるエアコン等の最新設備のほか家庭のようにゆつくりくつろいで頂けるように畳のスペースやソファアが完備されています。

利用対象者は、介護保険対象といった限定された施設ですが、向いにはゲートボール場がありますので、休憩の際や深空地区をはじめ村民の方々、ボランティアさんなど様々な方とも交流できるようなデイサービスセンターになれぼと思えます。7日の開

所式では職員による吹奏楽の演奏や県歌「信濃の国」に合わせた健康体操が行われ、その後、職員による施設の説明なども行われました。



住民基本台帳
(平成25年9月末日現在)
総人口 3,398 人
男 1,547 人
女 1,851 人
世帯数 1,662 世帯
(前月比: 総人口 **2人増**
世帯数 **1世帯増**)

～お食事のご案内～

- ※ 昼食 11時～14時
- ※ 夕食 17時～19時30分
(ラストオーダー 19時)
- ※ 宴会・折詰・弁当・おまぜ等
お気軽に御利用ください

国民宿舎 白鯨
TEL 59-2323

